

交野の未来をいっしょに語り合う

ニュースレター

vol.3

**第3回 市民ワークショップ**

～目指すまちの姿を整理しましょう！～

日時:令和3年10月9日(土)、10:00～12:00 場所:交野市役所別館3階中会議室

## ◆ 次 第 ◆

- 1 本日のプログラムの概要説明、前回の振り返り
- 2 テーブルワーク
  - (1) 内容の説明
  - (2) テーブルワーク
  - (3) 発表
- 3 今後の予定



当日の会場の様子

第3回は24人の方にご出席いただきました。

## ◆第3回市民ワークショップの内容

**1 本日のプログラムの概要説明、前回の振り返り**

- 第2回の内容を簡単に振り返りました。

**2 テーブルワーク**ステップ 1

- 「ビジョンの種」を選びとろう！

- ・ 「ビジョンの種」カードの中から、各班のテーマに沿った目指すまちの姿の基となるカードを5つ程度を目安に選びました。
- ・ 重点カードに関連するカードを残りのカードから選び出し、重点カードの周りに並べ、「ビジョンの種グループ」を3つ程度作りました。「ビジョンの種グループ」に不足する情報を白紙のカードに書いて補いました。

ステップ 2

- 「ビジョンの種グループ」を育てよう！

- ・ 重点カードに関連するカードを持ってきた人は、そのカードと重点カード等との関係を説明する内容（ビジョンのストーリー第1弾）を付せん紙に書いて班内で披露しました。
- ・ たくさん出てきた「ビジョンのストーリー」をグループで話し合いながら分離・統合して、新たなビジョンのストーリーを作りました（ビジョンのストーリー完成形）。
- ・ 「ビジョンのストーリー」に『〇〇なまち』のようなタイトルを付けました。

ステップ 3

- 各班の内容を発表しました。

## A 班：子育て・教育系

※黄色枠内は第 2 回 WS を踏まえた「ビジョンの種」カード、白枠内は第 3 回 WS で追加された「ビジョンの種」カードを示しています。

### 子どもが自ら学びたいと思えるまち

- 防災にも配慮したまち
- 教育環境の充実
- 学びは勉強だけではない。
- 生きる力。自然、人間関係、コミュニティ、世代を超えて、第三者の大人
- 「老朽化」も魅力に。
- インクルーシブな教育環境を整える。
- 学校を核に世代を超えて交流
- 市民も学べる学校
- 子どもが自ら学びたいと思えるまち
- こころと体を育む教育環境がある。
- 「交野市」の特徴を活かした教育
- 困り感。つながるコーディネート、大人も子どもも。
- 子どもに優しいまち→社会的弱者に優しいまち→大人にも優しいまち

①子育て● 子育て世代が借りやすい公共の部屋が多い。	①子育て●●●● 教育環境が充実している。	①子育て 施設老朽化の維持	①子育て 新しきものを取り入れる風土
①子育て●● 図書館の充実、きれいに、おしゃれに	①子育て●●● 地域に開かれた学校	①子育て● 行政が仕組みをつくりボランティアとの協働で継続する仕組み	①子育て● 保育料、給食が無料
①子育て 高校生まで給食	共通●● 世代を超えて交流ができる場所がある	共通● 多くの人が学校活用している	⑤自然 田畑を身近に感じる
⑤自然● まちの景観を守り、住みたいまちと思える環境	⑤自然● 自然の保全	⑤自然 小学校の農業体験がある	⑤自然● 自然に身近に触れられる
⑤自然 四季を感じる街路樹	それぞれの子どもに合った教育の提供	安全に遊べる場所	子どもが安心・安全な居場所がある

### のびのび育てられるまち

- 安全に遊べる場所
- 広い場所
- 適当な大きさの場所
- 子どもが安心・安全な居場所
- 自然とふれあえる。のびのびとした子育てができる。
- 安心で快適・良好な環境がある
- 親が安心して子どもを外に遊びに出せるまち

①子育て 子どもの遊び場（公園以外）がある	①子育て●● 散歩で行ける距離に公園がある	①子育て 大きい公園で子どもが集まり、にぎわいがある	①子育て ボール遊びできる
①子育て● 子どもたちが楽しく学び、遊べる	①子育て 子どもを外で安心して遊ばせられる空間がある	③防災 まちの空気が穏やか	③防災 静かなまち
③防災●● 安全な公園が多い	③防災● 夜道が明るい	③防災 地域の見守り体制が整っている	③防災 道が広い
③防災 交通機関をストレスなく利用できる	③防災 自転車専用の道がある	⑤自然● 川辺、水場、遊び場がある	

## 必要になったときに必要な分だけ支援を受けられるまち

- 親目線で。
- 地域+地域を越えた新しいコーディネート
- 必要な情報がいつでも入手できる。
- 働き方に関わらず仕事を辞めずに様々な子育てスタイルで生活できる。
- 共働きも含めて（ひとり親、事業も）保護者が子育てしやすい環境。
- 必要になったときに必要な分だけ支援を受けられる、子育て環境の充実。
- 子育てのしやすさ（病院、買い物、仕事、保育園、幼稚園に係る移動距離が短い）
- 子育て世帯という「マイノリティ」へのアプローチができる。

共通● 必要な情報や気になる情報がネットを調べたら出てくる	共通●● 強制と過干渉をしない近所づきあい	共通● まちの「困った」をコーディネートしてくれる仕組みがある	共通 困ったことをみんなでサポート、助け合える
共通 寄り添った相談ができる	共通 近所のあいさつがある	①子育て● 若い世代が多い	①子育て●● 共働きでも子育てに不安を感じない
①子育て● 保育園など入りたいところへ入れる	①子育て ショッピングセンター等の子育て支援（一時保育）	①子育て 中学生までの生活補助がある	①子育て シングルマザーに来てもらう（やさしい）
②健康● 社会的弱者に優しい。	③防災 職場へのアクセスが良い	③防災● 徒歩圏内である程度完結する	③防災● 犯罪が少ない
④産業 子どもから年寄りまで情報がすぐ伝わる	④産業● テレワークしやすい	子どもが安心・安全な居場所がある	

## B 班：健康・福祉・人権・多文化共生系

※黄色枠内は第 2 回 WS を踏まえた「ビジョンの種」カード、白枠内は第 3 回 WS で追加された「ビジョンの種」カードを示しています。

### 誰もが情報に困らないまち

- 世代間だけでなく、多文化を背景にもつ住民も増えている。
- 高齢者中心型から全世代対象型のまちづくり
- 高齢になっても外に出て行けるまちには情報が大事。
- 誰でも同じ情報を共有できる。(世代・ツールを問わず)
- 市民からの情報提供を受ける体制促す仕組みづくり
- 誰もが情報に困らないまち

共通 地域が繋がっている	共通 市民同士でコミュニケーションがとれる	共通 困ったことをみんなでサポート、助け合える	共通 情報網でつながっている
共通 必要な情報や気になる情報がネットを調べたら出てくる	共通 リアルとネット情報をつなげる	共通 防災について強く行政が発信できる	②健康 ●● 高齢者とあらゆる世代が情報を共有できる
②健康 ● オンライン治療・介護	②健康 ● 社会的弱者に優しい	③防災 交通ネットワーク (MaaS)	④産業 ●● 子どもから年寄りまで情報がすぐ伝わる
④産業 地元のお店の情報がよりわかるツールがある	多言語の情報発信		

### つくるまちづくりから育てるまちづくりへ

- つくるまちづくりから育てるまちづくりへ。
- 団体の活動拠点（場所）があるとよい。
- 市民活動・団体活動の中間支援をしてくれる組織がある。
- 市民・市外関係者・企業等を巻き込んだ産業の活発化。
- 外国人労働者の受け入れ、雇用の確保。
- 既存ストックを活用した持続可能なボランティア活動ができるまち。
- 一過性ではなく、持続可能な支援活動ができるまち。
- 市民主体の組織による行政施策支援

共通 ● まちの「困った」をコーディネートしてくれる仕組みがある	共通 やりたい人とやってほしい人のマッチングがしやすい	共通 福祉、教育、子育て等目的別市民組織	共通 市民の有償活動 (LLP)
共通 かたののまちコンシェルジュ	共通 市民が自分の強みをまちづくりに生かす	①子育て ●● 行政が仕組みをつくりボランティアとの協働で継続する仕組み	②健康 高齢者とあらゆる世代がともに行う活動が多い。
④産業 ● 地元産品 6 次産業化	④産業 関係人口 5,000 人	④産業 古民家の活用	⑤自然 地域だけでなく、市民全体で取り組む活動が多い
障害者雇用	副業ができる		

## 笑顔が交わせるまち

- 笑顔が交わせるまち
- 顔の見える関係をたくさんつくる仕組みを考える。
- あいさつがあり、顔を見れる関係があれば災害時に助け合える。
- お節介がやける近所づきあいのできるまち。
- 子どもが安心なまちは大人も安心して暮らせる。

共通 ●● 近所のあいさつがある	共通 つながりをいつも感じる	共通 年代を越えて市民が気軽に話せる	共通 ご近所力、近所同士で関わりやすい
共通 ● 新しく住む人と古くから住んでいる人が歩み寄れる	共通 ● 世代を超えて交流できる場所がある	共通 多くの人が学校活用している	共通 市民と市役所のコミュニケーションがとれる
共通 ● 市民憲章「和」が根っこにある	共通 おだやかに暮らせる	①子育て ● 子どもを外で安心して遊ばせられる空間がある	①子育て 散歩で行ける距離に公園がある
①子育て 地域に開かれた学校	③防災 ● 高齢者が心配しないで暮らせる	③防災 ● 地域の見守り体制が整っている	⑤自然 ● 趣味で集まれる場所がある
⑤自然 趣味の交流がある	⑤自然 祭りや地域イベントなど、参加したい人が積極的に集まれる	顔が見える、顔がわかる	

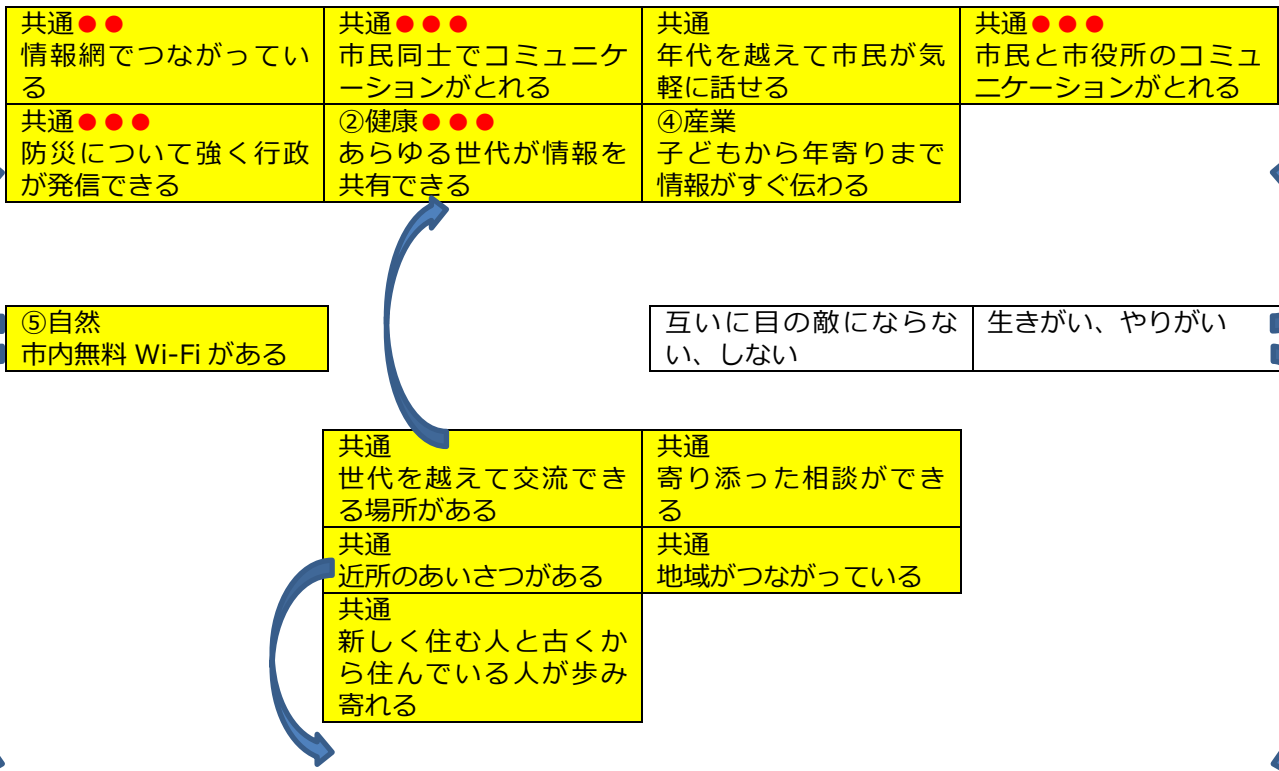
## C 班：防災・安全・安心・住まい系

※黄色枠内は第2回 WS を踏まえた「ビジョンの種」カード、白枠内は第3回 WS で追加された「ビジョンの種」カードを示しています。

### 「コミュニケーションのまち」

#### あらゆる世代・立場の方が融合し、 気軽に話せてコミュニケーションがとれるまち

- 日常的にあいさつを交わし、いざという時には助け合いが自然にできるコミュニティ
- 市民同士が世代を越えてコミュニケーションが活発になり、交野市と市民の情報網が活用できるまち
- みんな（行政と市民、市民同士）がコミュニケーションをとって、物事を進めるまち
- 発信と受信の融合するまち
- 世代を越えた融合あるまち



### あらゆる世代・立場の人が寄り添い、優しく、 穏やかに見守り合っているまち

- 高齢者と子どもたちに寄り添えて、いつも安心して生活できるまち
- すべての人が安心して穏やかに暮らすことができるまち
- まわりに優しい目を向ける。

共通 ご近所力、近所同士で関わりやすい	共通 自治会館が活用できる	共通 おだやかに暮らせる	共通 若者から年寄りまで長く住める
①子育て 子どもを外で安心して遊ばせられる空間がある	②健康 ●● 社会的弱者に優しい	③防災 ● 高齢者が心配しないで暮らせる	③防災 ●●● 地域の見守り体制が整っている
③防災 ● まちの空気が穏やか	③防災 ● 夜道が明るい	③防災 ●●● 犯罪が少ない	ほどよい距離感

### アクセスが良く、交野山を身近に感じ、 安心していつまでも住みたいと思えるまち

- みんなが気持ちよく暮らせるまち
- アクセスが良いと暮らしやすい。
- 交野山の景観を身近に感じることができる。
- 公共の場所がきれいだと安心につながる。
- 住まいと環境の景観を美しく保ち、いつまでも住みたいと思えるまち
- 自然を身近に感じ、子どもが住みやすいまち

①子育て 子どもたちが楽しく学 び、遊べる	③防災 ● 駅に着いて「交野」らし さがわかる	③防災 ● 駅などトイレがきれい	③防災 電柱のない道路、安全に 歩ける道
③防災 ● 自転車専用の道がある	③防災 ● 交通機関をストレスな く利用できる	③防災 空き家が少ない	③防災 一つ一つの空き家を大 切に
④産業 環境のまち交野	⑤自然 ● 景観の美しいまち	⑤自然 ● ● まちの景観を守り、住み たいと思える環境	⑤自然 ● きれいなまち（ごみが少 ない）

## D 班：都市環境系

※黄色枠内は第 2 回 WS を踏まえた「ビジョンの種」カード、白枠内は第 3 回 WS で追加された「ビジョンの種」カードを示しています。

### 「フラッと寄りたいまち」

- イベントが多くフラッと寄りたい（寄れる）楽しいまち
- 地元の人が働いて、常にイベントが開催されていて、人が集まる場所
- 道が広く、歩道、自転車、車道が整備されているので人が集まりやすい。
- 道が整備されているので安全。
- 景観も良い。
- イベントがあり景観が美しいまち
- イベント、景観、安全
- 景観を整備→人が集まる、防犯→イベントが増える。商店街がにぎわう。
- すっきりとした街並みで、人が集まり、イベントが多く、商店街がにぎわうまち
- すっきりとした街並みで、イベントが行われて、人が集まり、安全に楽しめる、交野らしい景観がある美しいまち
- 人と人とのつながり、商店を中心にしながら情報共有をする。
- 産業があり、人が多く集まることでイベントなどで盛り上がるまち
- 色んな商店があり、各店でイベントがやっているから人が多く集まり、いつもにぎわっている。
- 定期的にイベントが開催され、市内の人は自転車で行きやすく、市外の方は観光後に寄れる商店街
- 市民同士でつながり、イベントが開催されることで商店街がにぎわっている。
- 人が多くいるのに防犯がしっかりしているから、結果的にさらに人が集まる。
- 景観（電柱など）を整備し魅力的なまちになることで、新しいアイデアをもつ若い自営業者を呼び込む要素になる。

共通 情報網でつながっている	共通 ● 市民同士でコミュニケ ーションがとれる	共通 地域が繋がっている	共通 全市的なイベントがあ る
③防災 駅などトイレがきれい	③防災 わかりやすい自転車置 き場	③防災 電柱のない道路、安全に 歩ける道	③防災 電柱の明かりが明るす ぎる
③防災	④産業 ●	④産業	④産業 ● ● ● ●

犯罪が少ない	地元企業の活性化（働く場所が多い）	産業がある程度ある	商店街がにぎわっている
④産業 観光後にふらっと寄れる	⑤自然 イベントが開催される	⑤自然 景観の美しいまち	人が集まる

○地場野菜

○色んな農業体験ができて、地域の人たちとふれあえるまち

○有機農業を教える人がいて、市内・市外から人がやってくる。

○観光商業の横串となる。

①子育て● 大きい公園で子どもが集まり、にぎわいがある	④産業 農地、農業と調和	④産業●●● 観光農園（市営）がある	④産業 農家と地域住民の調和
④産業● 花木が多い（を植える）	④産業 お水や神宮司ぶどうなど、地元のよいものを発信できるものがある	④産業● 誰でも交野の名所・名産が話せる	④産業●●● 道の駅がある
④産業 アンテナショップ	⑤自然 おりひめ大学など市民の活動が拡大	⑤自然 田畑を身近に感じる	⑤自然● 小学校の農業体験がある

○まち歩きで（リサーチ）残したい田園を募り、交野の「こころの風景」を制定。

共通 世代を越えて交流できる場所がある	共通● かたののまちコンシェルジュ	④産業●●● 名所づくり、キャッチコピー	④産業● 名産品がある
④産業 村（古風の所）イメージを残す、保存	④産業●● 田園風景が残る	⑤自然 川辺、水場、遊び場がある	⑤自然 サイクリングロード（遊輪道）
⑤自然 交野から生駒、東大阪方面へ公共交通機関がある			

## E 班：自然・文化・歴史・生涯学習系

※黄色枠内は第2回WSを踏まえた「ビジョンの種」カード、白枠内は第3回WSで追加された「ビジョンの種」カードを示しています。

### あらゆる人がいきいきと活動できるまち

○活動に参加したい。→誰でもその拠点に行くことができる。

○市内の移動をしやすくする。ゆうゆうバス有料でいいから全市民が乗れるようになど。

○ボランティア、市民活動グループが、施設ごとに登録でなく全体が見れるところがあるといい。

○市民活動が活発になり、各々のイベントが行われて、人のつながりもできる。

○市民の思いが行動に移しやすいインフラがある。

共通 つながりをいつも感じる	共通● 新しく住む人と古くから住んでいる人が歩み寄れる	共通 市民が自分の強みをまちづくりに生かす	共通 全市民的なイベントがたくさんある
-------------------	--------------------------------	--------------------------	------------------------



②健康 高齢者のスキルを活かした下宿生の募集で高齢者の安心確保と文化の伝承	③防災 市内を回る無料バス	③防災 交通機関をストレスなく利用できる	⑤自然 地域だけでなく、市民全体で取り組む活動が多い
⑤自然 ●● おりひめ大学など市民の活動が拡大 <b>重点</b>			

### 市と市民が思いを共有できるまち

- 市民と市役所の壁がない対話が上手くできる。
- 市民活動に参加していない人のニーズを拾う方法
- 行政と市民の適度な距離感
- 行政施策が市民にわかりやすく。
- 市役所の情報により市民の市への関心や意識が深まる。
- 市の考えが市民に上手く伝わり、市民が活動しやすい環境づくりや支援
- 行政をフォローする市民団体があり、回っているように思う。
- 市民活動をフォローされる体制がほしい。
- 旧村と新興住宅地との市民活動の差

共通 年代を越えて市民が気軽に話せる	共通 情報網でつながっている	共通 必要な情報や気になる情報がネットを調べたら出てくる	共通 ●● 市民と市役所のコミュニケーションがとれる <b>重点</b>
③防災 ● 地域の見守り体制が整っている	⑤自然 ● 「里づくり講座」などが活発に開かれ、市民の意識が高まっている		

①子育て 図書館の充実、きれいに、おしゃれに	②健康 ● 社会的弱者に優しい
---------------------------	--------------------

### 環境を活かすまち

- 自然を壊して住宅が建つ今の交野が嫌。空き家はたくさんあって、高齢者など孤立している現状もある。今のまちを生かしたまちづくりをしてほしい。
- 歩いて楽しみやすい仕掛けづくり。交野はただの田舎。田舎を売り出せていない。自然。
- 積極的に市が緑を増やすことに力を入れることにより現実的になる。
- 耕作放棄地で農業体験。都心からの立地を生かして。
- 安全で住みたいまちを守る。先進的な取り組みを。
- 「こんなまち」と語れるテーマがある。
- 今ある自然や文化を大切に市と市民が協力して守り、活かしていく。
- 交野を本当に自慢できる住民。

①子育て 子どもを外で安心して遊ばせられる空間がある	③防災 空き家が少ない	④産業 ● 環境のまち交野	④産業 自然の豊かさを市内外に示せる
④産業 田園風景が残る	④産業 市外の人から見て行きたくなる魅力を発信	④産業 誰でも交野の名所・名産が話せる	⑤自然 ● きれいなまち（ごみが少ない）
⑤自然 ●	⑤自然 ●	⑤自然	⑤自然 ●●

景観の美しいまち	四季を感じる街路樹	街路樹の管理のための住民の意識 ex 落ち葉を厭わない	まちの景観を守り、住みたいまちと思える環境 <b>重点</b>
⑤自然 川辺、水場、遊び場がある	⑤自然 自然の保全	⑤自然 自然環境を生かす資料の充実 (パンフレットなどがたくさん色々)	⑤自然 歩いて楽しむ
⑤自然 ● 農地・空き家の有効活用で交流人口の増大			

### 3 今後の予定

○次回日時：12月4日(土)10:00~12:00、場所：交野市役所別館 3階中会議室

テーマ：私（私達）ができることを考えましょう！

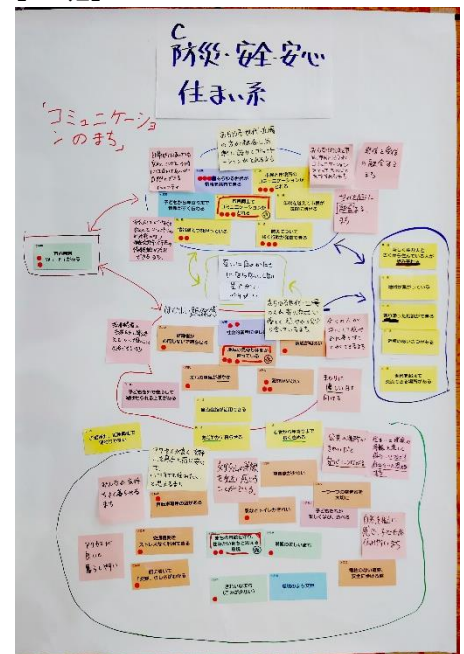
#### [A班]



#### [B班]



#### [C班]



#### [D班]



#### [E班]



### ■ 第3回市民ワークショップふりかえりシート（参加者アンケート）の結果 ■

#### 1. 本日のワークショップで発見したことやおもしろかったことをお書きください。

- ・ ビジョンの種から「互い（市民と行政）に目の敵にならない、しない」の単語が出るなど、いろいろ派生していくのがおもしろかった。
- ・ いろいろな視点で新しい発想や考え方を知ることができてとてもよかった。この会での話し自体が発見であり、おもしろかった。
- ・ 様々な意見が出て、新しい気づきが自分自身あり、非常に有意義な時間だった。
- ・ 自分の意見と対照的な意見の方のお話をたくさん聞くことができておもしろかった。
- ・ ストーリーの作り方が人それぞれで、そういう観点もあるのかと新しい発見があった。
- ・ 各チームの視点が異なる点、アプローチ手法の違いがおもしろい。
- ・ 今までとは違ったテーマにフォーカスしての議論で、とても多くの学びを得ることができた。
- ・ これまでの回に出てきたたくさんの意見を集約しながらテーマごとに視点を加えてまとめている方法がとても参考になる。
- ・ 今の交野に足りていないことが少し分かったような気がする。
- ・ 5班すべて異なるテーマだったが、どこも共通した部分があり、そこが重要なところなのではと思った。
- ・ どの班も、市と市民とのコミュニケーションが要になっていると感じた。
- ・ コミュニケーションが重要であることが改めて認識した。
- ・ メンバーが変わり、新たな意見を聞くことができて良かった。
- ・ 皆さんの意見をお聞きできるのが本当にいいと思う。知識や頭の回転、発信力、いろいろ必要で難しいががんばってついでいきたい。
- ・ いつもなんだかんだで上手くまとまっていくのには感心している。参加者の個々のスキルとファシリテーションの技術だろう。
- ・ 第4回ではさらに深く良い意見が出ると思う。
- ・ 特に、行政と一緒に市民がまちづくりの主役としてまちを育てるという考え方は、今後のまちづくりにとって必要だと思う。
- ・ 誰もが住みやすいまちづくりについて、誰もが考えることのできるまちになればいいと思う。
- ・ この場に来ると、交野市は良い人ばかりのまちだと感じる。実際には様々な方がおられることは分かっているが。
- ・ 「ビジョンの種」はワークショップとしてはまだ少し難しい面もあった。
- ・ カードの枚数が多い。事前の整理が必要ではないか。
- ・ 時間が足りなかった。分野が専門化したにも関わらず、時間に困るとは思わなかった。

#### 2. 今後のワークショップに期待することをお書きください。

- ・ こういった話し合いを、5回だけでなく継続的に持てるといい。集まっている皆さんは意識の高い方々ばかりで、スキルもあると思うので、このメンバーで何か企画するとか、形になるも

のを残せたらおもしろいと思う。

- ・ より具体的な政策案やイベント・事業などにつなげられたらいいと思う。
- ・ 今日出た意見がどのような形で具体化されていくか楽しみ。
- ・ 市民の役割、行政の役割が見えてきたように思う。マネジメント力に期待する。
- ・ 外部有識者の視点や意見、評価を知りたい。
- ・ まち歩きをし、まちをリサーチした上で、もう一度話し合いができればいいと思う。
- ・ 意見はたくさん出せたが、すり合わせやまとめがあまりできなかったので、今後それを合わせていければいいと思った。
- ・ 班に与えられたテーマが多くて、選んだ3つの種にもれてしまった分野について話し合えなかったのが気にかかった。
- ・ どの班にもピックアップされなかった種も忘れずに意識してもらいたい。
- ・ 話題になったテーマから外れたテーマにも光をあてることも必要。
- ・ 時間管理が難しいのでさくさく進めたい。
- ・ もう少し話し合いする時間を増やしていただけると。
- ・ 時間が短いかもしれない。今日のワークショップでは最後まで終わらなかったため。

### 3. その他のご意見やご感想

- ・ 2時間があったという間だった。「コミュニケーション」が充実していたからだ。
- ・ ワークショップは普通にやったら失敗することも多いと思うが、スムーズに進んでいるのは、ワークショップに慣れたコーディネーターの方々に参加してくださっていることが大きいと思う。
- ・ とてもいいワークショップだったと思う。このワークショップが基本構想に活かされればと思った。
- ・ 今までの自分の取り組みとは違ったテーマについて学べることができ、とても良い時間だった。また市民の方のリアルな声が聞け、とても良い学びができた。
- ・ 各個人別に具体的な施策提案の場があった方がよいのではと思う。
- ・ 環境のテーマは「自然」が多かったが、ごみや環境破壊などについても検討が必要な気がする。
- ・ 前回のニュースレターや今回のビジョンの種を見せてもらったが、障害者やLGBT等マイノリティに関するものについて特筆されているものがなかったように思う。入れておくべきテーマだと思う。
- ・ やはり時間足りない。
- ・ 言葉の定義があいまい。統一用語が必要では。